







# 令和2年 **4**月の大阪森林便り

## 目次

- (1)  木から始まるSDGs 環境保護、自然体で
- (2)  気候変動対策で脚光 ミシガン州立大学 森林学科
- (3)  集成材材料、強弱感が対立
- (4)  輸入合板、半年ぶり下落
- (5)  森林大火災「主犯」は温暖化 世界で多発 高温乾燥に拍車
- (6)  国産合板 値下がり 4年9か月ぶり

## 今月の木の話 板目と柾目

### (1) 木から始まるSDGs 環境保護、自然体で

\*適度に管理された林や森は良質な水を生み、気候変動の要因とされる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を吸収、固定化して地球を守ります。

\*「未来」という字に目を凝らしてみると、どちらも「木」から成り立っています。

\*木から始まるSDGsはCO<sub>2</sub>の削減ではなく、もっと踏み込んで減らす可能性も秘めています。

・木の成長期にCO<sub>2</sub>を吸収して固定化して炭素の塊にするだけにとどまりません。

\*軽くて加工も運搬もしやすい木は加工、物流時に発生するCO<sub>2</sub>が、鉄や石油由来の原材料と比較して圧倒的に少なく済みます。

上手に管理すれば植林、育林、収穫の循環が出来上がります。

(2020年3月2日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



### (2) 気候変動対策で脚光 ミシガン州立大学 森林学科

\*森林が面積の半分以上を占め、歴史的に林業が盛んな米北東部のミシガン州。ミシガン州立大学には米国最古といわれる森林学科があります。

\*気候変動対策として森林管理に取り組む企業が増えたことで注目を集めています。

\*森林が地球の大気に及ぼす影響には、いまだ解明されていない謎が多くあります。

\*16世紀から19世紀の「小氷期」といわれる世界的な冷え込みは、米大陸での先住民民族に対する圧迫が引き起こしたとの説も。

・耕作者のいなくなった先住民の農地が森林に戻ったことで、大気中のCO<sub>2</sub>が吸収され、気温が低下したとの見方もあります。

(2020年3月4日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (3) 集成材材料、強弱感が対立

#### 工場ストで供給不安 中国需要減少の観測

- \*集成材の原料板材（ラミナ）の日本向け価格が見通しにくくなっています。
- \*欧州産に依存するラミナのうち約4割がフィンランド産。
- \*国産ラミナは柱向けで3割程度のシェア。
- \*1~3月期の対日価格は、前四半期に比べ2%高。4四半期ぶりの値上がり。
- \*主因は昨年12月中旬にフィンランドの製材工場で発生したストライキ。
- \*ストの影響は4~6月期価格に、より強く表れる可能性。
- \*ラミナは船積みから日本に到着するまで約2か月。4月分の日本向けが品薄になる可能性。
- \*新型コロナに伴う港湾での荷役作業の混乱などで、2月に予定していた12月積みのラミナは到着が遅れています。

(2020年3月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



### (4) 輸入合板、半年ぶり下落

- \*輸入合板の流通価格が6か月ぶりに下落。
- \*コンクリート型枠用は前月比で3%安く、2017年7月以来2年8か月ぶりの安値。
- \*構造用合板も3%安。
- \*輸入合板の1月の入荷量は241,785M3。前年同月比で6%減少。

(2020年3月12日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (5) 森林大火災「主犯」は温暖化 世界で多発 高温乾燥に拍車

- \*大規模な森林火災が世界各地で発生。
  - \*森林火災があまり見られなかったアラスカやシベリアなど北極圏近くでも近年多発。
  - \*地球温暖化やそれに伴う異常気象が拍車をかけているという見方が強まっています。
  - \*延焼しやすい条件は高温と乾燥です。
- ☆地球温暖化 CO2 排出増加が原因
- \*地球の大気や海洋の平均気温が長期的に上昇する現象。
  - \*温暖化ガスの排出量増加が要因。
  - \*1880~2012年に世界平均で0.85度上昇。
  - \*地球は寒冷期と温暖期を繰り返してきました。
  - \*現在の温暖化は、人間の活動の影響が大きい点が過去の変動と異なります。
  - \*温暖化ガスの7割超をCO2が占め、2100年までに最大4度以上上昇すると予測。

(2020年3月15日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## (6) 国産合板 値下がり 4年9か月ぶり

### 住宅着工減で在庫急増

- \*国産針葉樹合板の流通価格が4年9か月ぶりに下落。
- \*国産針葉樹合板の価格は、前月に比べ2%安。値下がりには2015年6月以来、4年9か月ぶりで、2018年2月以来の安値。
- \*主因は住宅着工の落ち込み。1月の住宅着工戸数は前年同月比10.1%減、7か月連続で前年を下回っています。
  - ・特に持ち家の落ち込みが大きく、前年同月比13.8%減と6か月連続で減少。
- \*国産針葉樹合板の2月の出荷量は前年同月比8.9%減。
- \*2月末のメーカー在庫量は前月比21.9%増。
- \*住宅展示場への来訪数も減っています。



### 輸入合板も一段安

- \*輸入合板の国内流通価格も一段と下落。
  - ・型枠用は3月上旬に比べ2%安。構造用も2%安。普通合板も3%安。
- \*輸入合板の対日価格は2019年冬から上昇。
- \*新型コロナの影響でマレーシアの一部工場で稼働が停止。
- \*輸出国の港湾機能が停止する恐れも。

(2020年3月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 今月の木の話 板目と柾目

- \*年輪が板の表面に描く模様を木目と言いますが、木目が波形や山形模様になっている板目と、木目が平行線のようにになっている柾目とがあります。
- \*柾目材は板目材よりも反りや割れが少なく加工しやすくなります。
- \*板目材よりも柾目材の方が吸湿量は多くなります。
- \*板目材の収縮率は柾目材よりも1.6～2倍くらい大きくなります。

(日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用)

